

■H25.9.14 勉強会<合同>第6回 傍聴者アンケート結果:6名(公開「可」の記載があったアンケート)

No	本日の勉強会についてのご意見	PI プロジェクトに関するご意見
1	<p>「税金は効果的に使って(P21、22)」に、財政調整基金、鉄道高架化用基金の2項目を入れないのは、おかしい。一般的な指標で、市の財政を推し量らず、関係項目にしぼって検討すべきである。短時間で検討するには！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高架橋の地盤の液状化の懸念はデメリットである。</li> <li>・貨物駅を近傍駅へ移すと既存の駅なので、費用が少なくてすむ。</li> <li>・南北自由通路案は、歩行者、自転車にとって、メリットがあり、自動車にとっては変わらないはず。</li> <li>・貨物駅でなく、公園等に利用するなら、地権者の全員が合意している。住環境への影響はない。</li> </ul>
2	<p>郊外の土地開発についての意見が出されたが、中心市街地活性化を沼津市はどう思っているかを問うものだと思う。沼津市は一貫して駅周辺総合整備事業を中心に、中心市街地の活性化を目指している。高架化を予断なく論じるPIIに出てこないのもそこにある。反対・推進が並行線をたどるこのPIIは、どうやって合意形成を図るのか。どのような最終報告になるのか想像できない。</p>	<p>高架反対を主張しているが、開発が止まっている状態に不満を感じないのだろうか。</p>
3	<p>資料4-2について、各代替案の比較評価が様々なデータ、グラフ等で示されていたが、これらはすべて期待値であり、昨今、公共事業の効果が期待どおりに得られていないことは、市民の多くが知っている。大きな器を作れば大きなものが入るのはあたり前である。しかしこのデータには、変動要因があることを各項目ごとに明確に示すべきではないか。また変動要因が「何で」「どう作用し」「その結果の数値はこうなる」ということまで示すべき。</p>	
4	<p>やはり、財政面からの詳細な説明(資料含む)が必要ではないか？これは専門家(を呼ぶ呼ばない)うんぬんの話ではなく、沼津市サイドも顔を出さなくてはならない状況にはなっているかと思えます。更に言えば、賛成派、反対派双方からも補助金等について、より踏み込んだ方をお呼びした方が良いのではないかと？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的には、賛成でも反対でもあり、ある意味では中立には立っているつもりではありますが、本日「東椎路再開発」、「南北自由通路」、「橋上駅」等について、より話が及んで来たのは望ましいことだと思います。「PI高架」単独ではなく、包括的な検討は、結局のところ必要となると思います。</li> <li>・専門家の人選についても、これは政府でよくありがちな有識者会議的なものでは、おそらく各方面から理解は得られないと、個人的には感じます。偏りのない御人選をお願いしたいと思います。</li> </ul>
5		<p>早くの結論を望みたい。</p>
6	<p>資料4-2、P38の表記について 表現方法が現計画を基準に書いてあるので、公正性に欠ける。現状を基準にしての表現に変えるべきで</p>	<p>技術アドバイザーの1人に、財政の専門家を入れるべきです。</p>